

総務費

- 市民生活安全パトロールの実施
- コミュニティバスに関する調査・検討
- 市民参画の仕組みづくりに関する調査研究 など



民生費

- 休日保育、病後児保育の実施、認証保育所の開設など、保育環境を整備
- 児童虐待防止連絡協議会の設置
- 「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に着手 など



衛生費

- 市民の健康づくりのために「健康はむら21」を策定
- マンモグラフィによる乳がん健診の実施
- 天然ガス車（環境保全パトロール車）の導入 など



労働・農林・商工費

- 観光標識の設置、観光ガイドの作成
- 市内製造業の技術力向上のため技術力向上支援助成制度の創設、中小企業融資制度の改正
- 農産物直売所への支援 など



土木費

- 羽村駅西口土地区画整理事業、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業の推進
- 動物公園スタディホール建設
- 捨て看板の撤去・貼紙防止シートの設置 など



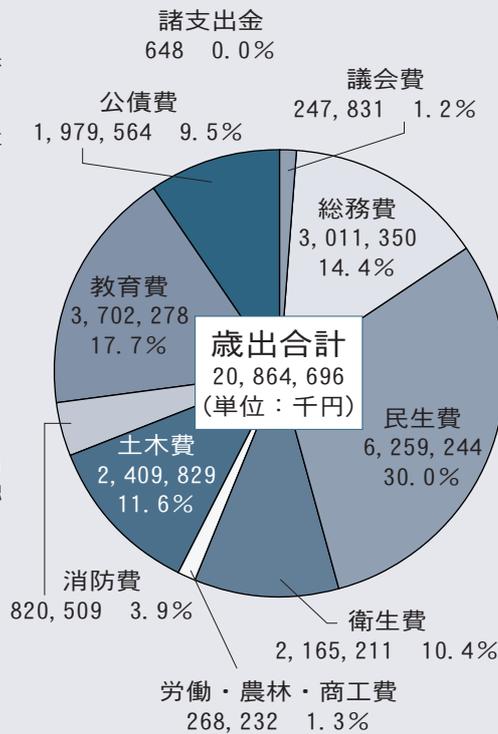
教育費

- 生涯学習施設（仮称）西棟、弓道場の建設
- 特色ある学校づくり交付金の創設
- 松林小学校屋内運動場及び羽村第二中学校校舎耐震補強工事、各小・中学校の施設整備 など

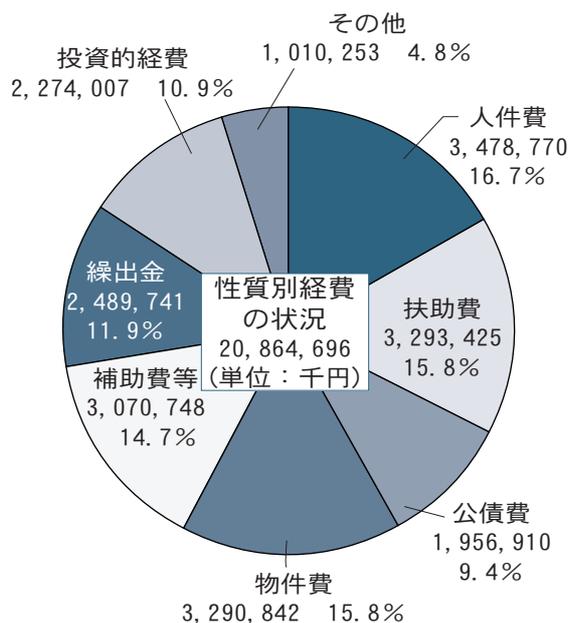


歳出

歳出総額は、208億6470万円で、前年度に比べて23億4783万円（12.7%）増加しました。これは、生涯学習施設（仮称）西棟建設事業費が伸びたことにより教育費が増加し、また生活保護費および児童手当の伸びにより民生費などが増加したためです。



性質別経費の状況



人件費

扶助費

公債費

物件費

補助費等

繰出金

投資的経費

職員給与や市議会議員、各委員会の委員に支給される報酬などです。歳出全体に占める割合は、多摩地区の中では低い数値となっています。高齢者・児童・心身障害者などを援助するための経費です。少子高齢化が進むにつれ、年々増加傾向にあります。

大規模な建設事業などに借り入れた市債(借金の償還金)です。歳出に占める割合が大きくなならないよう、計画的な借り入れを行っています。

賃金、旅費、役務費、委託料などの消費的経費で、公共施設の維持管理費などが含まれます。各種団体に対する助成金や西多摩衛生組合などの一部事務組合への負担金などです。

国民健康保険事業会計や下水道事業会計などへの繰出金です。

公共施設の建設などにかかる経費です。生涯学習施設（仮称）西棟、動物公園スタディホール建設工事などを実施しました。

基金・市債等

基金

将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。

平成16年度末の一般会計の基金残高は、68億8076万円、前年度と比べて1945万円増加しました。

これは、生涯学習施設整備基金などの特定目的基金（*1）の活用を図る一方、繰越金の効率的運用や経費節減などから生じた財源を財政調整基金（*2）に積み立てたためです。

なお、特定目的基金については、社会経済情勢の変化などにより2つの基金を廃止しました。

今後、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業、羽村駅西口土地区画整理事業などの大型プロジェクトを計画しているため、財政需要の増加が見込まれます。

このため、市では、長期的な計画に基づき、基金を年度間の財源調整や計画事業の実現に向け活用していきます。

*1 特定目的基金：施設の整備や福祉のまちづくり、教育振興などの特定の目的のための基金
*2 財政調整基金：市の年度間の財源の不均衡を調整するための基金

市債

家庭でいう「借金（ローン）」にあたるものです。

単年度予算では賄いきれない大規模な建設事業などを行う場合に、国や都などから借入れを行うものです。長期間にわたり返済する制度で、将来、これらの施設を利用する人にも公平に負担（後年度負

担）していただく目的も含まれています。

平成16年度末の一般会計の市債残高は、116億205万円で、前年度に比べて8億5416万円増加しています。

大型プロジェクトの推進に伴い、今後も市債の増加が見込まれますが、財政状況に合わせた借入れを行い、計画的な財政運営を行います。

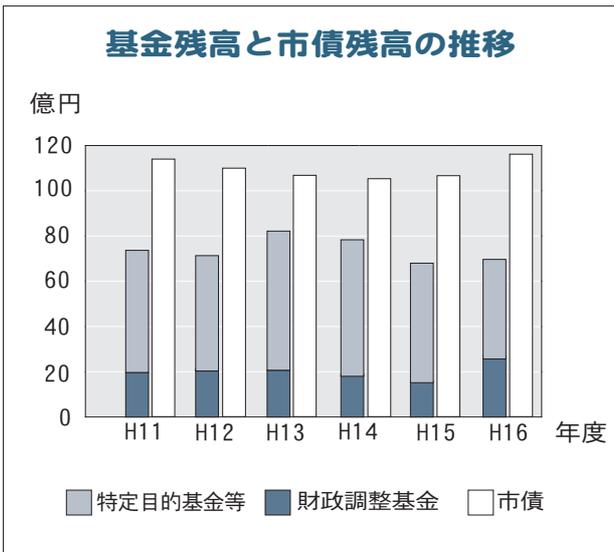
一時借入金

平成16年度の一時借入金の残高はありません。

市民一人あたりの額は

基金と市債の額を平成17年3月末現在の人口で割ると
・基金 12万4762円
・市債 21万369円

基金残高と市債残高の推移



特別会計

(単位: 千円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業会計	4,345,741	4,270,551	75,190
老人保健医療会計	3,025,682	2,942,031	83,651
介護保険事業会計	1,721,809	1,662,375	59,434
羽ヶ上土地区画整理事業会計	21,467	21,366	101
羽村駅西口土地区画整理事業会計	538,580	535,921	2,659
下水道事業会計	2,593,273	2,554,894	38,379

*各会計とも適切な予算執行により、黒字決算となっています。

財政指標から見た決算の状況

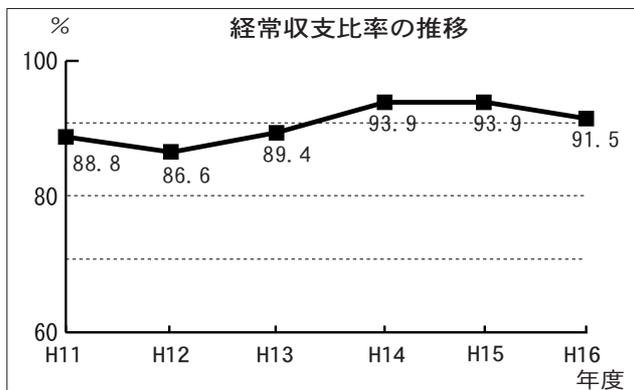
経常収支比率

経常収支比率は、財政の弾力性を示す指標です。この数値が高くなると、財政の弾力性が失われると言われています。

平成 16 年度は前年度に対して 2.4 ポイント改善し、91.5%となっています。

多摩地区 26 市の平均は 91.3%で、羽村市は低い方から 12 番目です。

なお、市では、これを 90%以内にする目標をたてています。



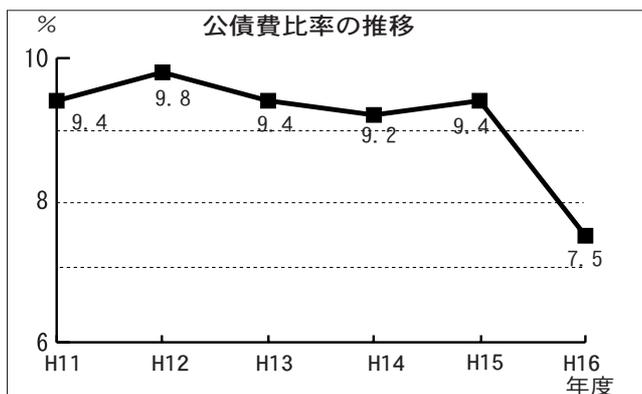
公債費比率

公債費比率は、財政の弾力性を見る尺度の一つです。

平成 16 年度は前年度に対して 1.9 ポイント改善し、7.5%となっています。

多摩地区 26 市の平均は 10.0%で、羽村市は低い方から 10 番目です。

なお、この数値は 10%を超えないことが望ましいとされていますが、市では、9%以下を堅持する目標をたてています。



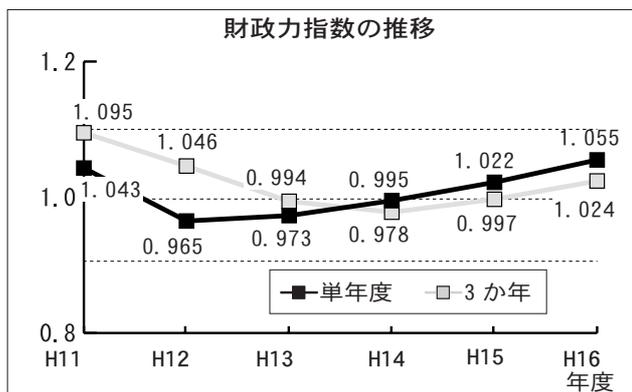
財政力指数

財政力指数は、財政力を表す指標です。普通交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があるといわれ、1を超えると普通交付税が交付されない不交付団体となります。

単年度の比較をすると、平成 16 年度は前年度に対して 0.033 ポイント上昇し、1.055 となっています。

他団体と財政力指数を比較する場合は、その年度を含めた過去 3 か年の平均値を用います。

多摩地区 26 市の平均は 1.036 で、羽村市は高い方から 9 番目です。なお、単年度では 10 番目となります。



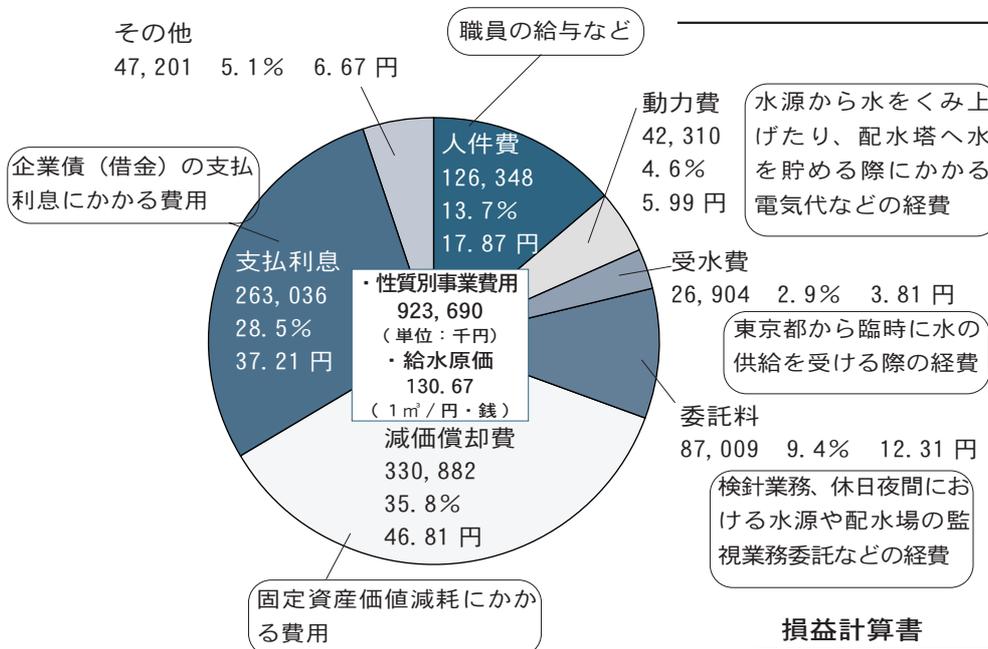
財政白書をご覧ください

平成 13 年度決算から「決算から見た羽村市の財政状況」や「財務諸表から見た羽村市の財政分析」などをまとめた「財政白書」を発行しています。市役所市政情報コーナー、図書館、市ホームページなどをご覧ください。

平成 16 年度 水道事業の決算状況

経営成績

最大口径の使用事業者の撤退などの影響を受け、水道の使用水量は前年度と比べ17万7941^m減少し、水道料金収入が7400万円余り減少したものの、一方で高度浄水施設が順調に稼動したことに伴い、東京都からの受水量が前年度より48万5000^m減少し、金額にして1億4300万円余りの減額になったため、純利益8555万6798円の黒字決算となりました。



※性質別事業費および給水原価は、水道費用から受託工事費など間接的経費を除いて算出しています。

損益計算書

単位：千円 (税抜き)

水道収入 (水道料金など)	1,073,004
水道費用 (水を供給するための費用)	987,447
差引 (純利益)	85,557

建設改良工事の状況

単位：千円 (税抜き)

工事収入 (工事負担金)	840
工事費用等 (配水管および施設整備、企業債償還金)	358,189
差引	△ 357,349

※不足分については、減債積立金、前年度および当年度減価償却費などの資金を充当しました。

← 老朽管の管種替などの配水管網の整備、防水型電動弁の改修および計装機器の改良を行いました。

財政状況

貸借対照表

単位：千円

問合せ
水道事務所
☎ 55412269

資 産		負 債	
固定資産 (土地・建物・施設・配水管等)	9,125,033	流動負債 (未払金)	48,761
流動資産 (現金預金・未収金等)	860,515	計	48,761
		資 本	
		資本金 (自己資本金)	1,031,615
		(借入資本金)	6,958,396
		計	7,990,011
		剰余金 (資本剰余金)	1,472,707
		(利益剰余金)	474,069
		計	1,946,776
資産合計	9,985,548	負債 + 資本合計	9,985,548